

紀平正美 きへい ちやうみ 哲學者、文學博士。明治七年四月二十日三重縣生乳、
昭和二十四年九月十八日歿（八七四—一九四九）。東京帝國大學文科大學哲
學科卒。大正八年學藝院教授、昭和七年以降國民精神文化研究所所員。
日本主義の學理的探究家として知られ、また、ノーベル哲學博識としての
結合を構想した。

著書『最新論理學綱要』（明治四十年十月四日岩波書店）、『總論』
（大正四年十月二日岩波書店）『哲學叢書』（）、『哲學概論』（大正五
年五月十五日岩波書店）、『無門關解釋』（大正七年一月十八日岩波
書店）、『行の哲學』（大正十一年一月二十八日岩波書店）、『論理
學及哲學の基礎概念』（昭和三年五月二日山海堂出版部）、『日本精
神』（昭和五年九月二十日岩波書店）、『國民精神への反省』（昭二
氏合著、昭和十二年二月十日社會教育會）、『歐米社會思想とその批判』
（昭二氏合著、昭和十二年二月二十日社會教育會）、『國體の眞意』
・『日本の國體』（史國正篤合著、昭和七年十月六日青年教育普及會）、
『日本精神の由来』（昭和十二年一月一日青年教育普及會）『國民精神
作樂叢書』（）、『我が國體への反省』（昭和十二年二月二十一日教
育會）『國體の本義解説叢書』（）、『おのほのほのの哲學』（昭和十二年二
月十五日國民精神文化研究所）『國民精神文化研究』（）、編著『臣民の
道徳義』（昭二氏合著、昭和十七年四月七日中央國書刊行會）（）、
『おのほのほのの論理學』（昭和十七年七月十五日歐陽書房）、『科學と
藝術』（昭二氏合著、昭和十七年八月五日歐陽書房）、『葉隱講話』
（昭二氏合著・自由長男編、昭和十七年十月二十日有精堂出版部）（）、
『櫻井禪の研究』（昭二氏合著、鈴木大拙・古田紹欽編、昭和十七年

十一月八日山喜房佛書林）、『皇國史観』（昭和十八年十一月二十日
皇國青年教育研會）、『福々騰の日本』（昭和十九年八月五日明世堂
書店）等。

